

品川区議会第2回定例会を終えて

2017年8月30日
日本共産党品川区議団
幹事長 飯沼雅子

7月2日投票の都議選では、品川の白石たみお都議が再選を果たし共産党は17から19議席へ躍進。一方自民党は、品川でも初めて議席がゼロになるなど歴史的な大敗。この結果を力に区議団は、区長選挙も約一年後の来年の秋に控える中、品川区議会第2回定例会（7/6～7/19）で、憲法と暮らしを守る新しい政治へ転換を求め論戦しました。

一般質問では、なかつか亮区議が①安倍9条改憲への反対表明②ニコン跡地購入で区民要望実現③戸籍住民課の民間委託中止④戸越公園駅周辺の超高層再開発の中止。石田ちひろ区議が①選択的夫婦別姓の実現②来年4月待機児ゼロ③国保料値下げと差し押さえ強化の中止④羽田新ルート計画へ反対表明、を求めました。以下、定例会の概要をご報告します。

（1）9条改憲、羽田新ルート…悪政に物言わず容認・推進の立場に身を置く区長

都議選では、安倍首相が示した2020年までの9条改憲に厳しい審判が下りました。共産党は区長に「9条に自衛隊を明記する安倍9条改憲に今こそ反対表明を」と求めましたが、区長は「外交・防衛についてはコメントしない」「自治体の首長が憲法について言及すると日本中が混乱する」と従来の答弁を繰り返した上、「区長は区民の負託を受けて区政を運営しているが、区民の負託の中に外交・防衛に関与するということはない」とまで言い、頑なに拒否。沈黙し安倍改憲を容認する区長の姿勢が明らかになりました。

定例会直前には、区議会の要請をうけ品川区が平和首長会議への参加を表明。共産党が長年求めていたものです。区長は核兵器禁止条約についても「外交・防衛上の問題だから発言しない」とするこれまでの態度を改め、条約の早期発効に向け積極的で具体的な行動をとるように強く求めていきます。

都議選では、品川・都心市街地を低空飛行する羽田新ルート計画が大争点となり、計画撤回を掲げる白石たみお候補が8000票伸ばし再選する原動力の一つになりました。区長はここでも計画への反対表明を避け続けています。一般質問では共産党、生活者ネットがこの問題を取りあげました。また、2年間で11本に積みあがっていた計画に反対を求める請願・陳情は12対25で否決となりましたが、共産、ネット、維新・無所属の3会派がそろって賛成討論（意見表明）を行ったことは画期的です。一方で、請願に反対した自民、公明、民進、無所属は、計画推進を求める意見は述べられず反対理由もまともに語れませんでした。「区民の会」をはじめとする区民の運動と世論、そして都議選の結果が推進勢力を追い詰めています。

(2) 大企業のための大型公共事業中心の区政から、国保料値下げや保育園増設など区民のための区政へ転換求める

暮らしと福祉の予算を抑制・削減し、税金や保険料は負担増。道路や大型開発には莫大な税投入。保育園など公務の民間委託を進め、民間に市場を明け渡す。安倍政権の「世界で一番企業が活躍しやすい国」に歩調を合わせた区政運営も品川区政の特徴になっています。

6月半ばには過去最大値上げの国保料通知が送付され、共産党は「削減されてきた国保会計への一般財源投入を元に戻し、国保料の引き下げを」と提案。また、禁止額まで差し押さえている過酷な国保料取り立ての中止を求めましたが、区は「違法判決が出るまでは続ける」旨の答弁をし、開き直りました。

今年4月の認可保育園の入園不承諾は1016人、3年連続1千人を超えています。共産党は「来年4月ゼロを目標に取り組み」と追及。区は「努力するがいつゼロにするかは示せない」「1歳児はまだ足りない。待機児童は出てしまう」と「待機児ゼロ」の区長公約を棚上げしたことは重大です。

一方で、大型開発は次々と推進。超高層ビル林立で商店街やコミュニティを壊し、防災にも逆行します。大井町南第一開発では超高層化と51億円の補助金投入で住友不動産が91億円の利益を手にする試算を具体的に示し、告発。大企業の利益誘導が目的の超高層の「まちづくり」から、街並みとコミュニティを生かした低層の防災まちづくりを提案しました。

(3) 幅広い共同を更に広げ、羽田新ルート計画に反対表明し憲法と暮らしを守る区長を

こうした区政に対抗し、その転換を求める住民の声と運動も大きく広がっています。羽田新ルート計画に反対する住民の会は、新たな請願運動や11回目のデモ、大規模な学習会に取り組み始めました。6月29日には、29号線の認可取消を求め62人が東京地裁に集団提訴。放射2号線の廃止や大崎図書館の存続を求める運動、北品川駅前広場や大崎駅西口など、トップダウンの大企業もうけのための巨大開発計画にも批判の声があがっています。

公有地を活用して特養ホームや保育園を、との長年の運動が実り、中延の都水道局跡地を購入した認可保育園(100名定員)、民間の土地を購入した知的障害者向けのグループホーム金子山(10名定員)などが実現しました。

一年後の来年の9月には区長選挙、合わせて区議補欠選挙が行われます。都議選での結果を経て更に変化を遂げつつある区議会内外での幅広い共同を更に広げ、羽田新ルート計画に反対表明し憲法と暮らしを守る新しい区長、区議会をつくるため、更に奮闘する決意です。